

## 表紙・目次等

権利	Copyrights 日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア 経済研究所 / Institute of Developing Economies, Japan External Trade Organization (IDE-JETRO) <a href="http://www.ide.go.jp">http://www.ide.go.jp</a>
雑誌名	中東諸国の社会問題
発行年	1998
出版者	アジア経済研究所
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2344/00012656">http://hdl.handle.net/2344/00012656</a>

# 中東諸国の社会問題

酒井啓子編

# 中東諸国の社会問題

酒井啓子 編

アジア経済研究所

研究双書No.486

酒井啓子編『中東諸国の社会問題』

**Chuto Shokoku no Shakai Mondai**  
(Social Problems in the Middle East)

*Edited by*  
Keiko Sakai

*Contents*

- Chapter 1 Child Labour in Egypt  
(Ahmed Abdalla)
- Chapter 2 Moroccan Young People  
(Mounia Bennani Chraïbi)
- Chapter 3 Youth Problems in Iraq  
(Keiko Sakai)
- Chapter 4 The Portrait and the Leader  
(Zuhair al-Jazairi)
- Chapter 5 Two General Elections  
(Akifumi Ikeda)
- Chapter 6 Tribal Factor in Yemeni Society  
(Hiroshi Matsumoto)
- Chapter 7 Civil Society and the Politics in Turkey  
(Yasushi Hazama)

[Kenkyū Sōsho (IDE Research Series) No. 486]

Published by the Institute of Developing Economies, 1998  
42 Ichigaya-Hommura-cho, Shinjuku-ku, Tokyo 162-8442, Japan

## 中東諸国の社会問題

〔執筆者〕

Ahmed Abdalla (アル・ジール青年社会問題研究センター所長)

Mounia Bennani Chraïbi (アラブ・イスラーム問題研究者)

さか い けい こ  
酒井啓子 (アジア経済研究所総合研究部)

Zuhair al-Jazairy (イラク問題研究者, 在ロンドン)

い け だ あ き ふ み  
池田明史 (東洋英和女学院大学社会科学部助教授)

まつもと ひろし  
松本 弘 (日本国際問題研究所研究員)

は ぎ ま や す し  
間 寧 (アジア経済研究所総合研究部)

〔訳者〕

は や し え い い ち  
林 栄一 (コーニング社元顧問)

い わ さ き な  
岩崎えり奈 (一橋大学大学院社会学研究科博士課程)

—執筆順—

## 中東諸国の社会問題

研究双書486

1998年3月25日発行© 定価は裏表紙に表示してあります

編 者 酒井啓子

発行所 アジア経済研究所

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)4231(代)

発売所 アジア経済出版会

東京都新宿区市谷本村町42 電話 東京(3353)1640

FAX 東京(3357)0435

振替 00150-7-143692

印刷所 勝美印刷株式会社

ISBN4-258-04486-5



定価(本体2400円+税)

ISBN4-258-04486-5 C3036 ¥2400E

# 目 次

まえがき

## 第 I 部 少年，青年

第 1 章 エジプトの児童労働	アフマド・アブダッラー	5
	(林栄一訳，酒井啓子監訳)	
はじめに		5
第 1 節 児童労働の実態		6
第 2 節 エジプトにおける児童労働研究		14
第 3 節 エジプトにおける児童労働対策		20
結 語		29
第 2 章 モロッコの若者たち：社会的アクターとして		
	ムニア・ベンナニ・シュライビ	35
	(岩崎えり奈訳)	
はじめに		35
第 1 節 ミュータント（異質者）としての若者		37
第 2 節 社会統合の障害と安全弁		39
第 3 節 マフザン（makhzan）とシバ（siba）の間に立たされる若者		42
おわりに		50
第 3 章 イラクにおける青年問題	酒井啓子	57
はじめに		57



第1節	現代史における青年層の政治活動への参加	58
第2節	バアス党政権の青年層取り込み政策	62
第3節	1980年代以降の青年層の社会意識	71
第4節	政府による青年支配の変容——結語にかえて	76

## 第II部 国家と社会

第4章	イラク：指導者とその肖像 …ズヘイル・アル＝ジャザーエリ	87
	(酒井啓子訳)	

はじめに	87
第1節 シンボルを作る	88
第2節 指導者像のさまざまな側面	94
第3節 量による支配	102

第5章	二つの総選挙：イスラエルとパレスチナ	池田明史	107
はじめに			107
第1節	パレスチナ評議会選挙		109
第2節	評議会とパレスチナ独立国家		113
第3節	イスラエル総選挙		116
結語	——国家観をめぐる「通常」と「特殊」との相克		120

## 第6章 イエメン社会における部族ファクター

——不安定要因か、アイデンティティの基盤か——

.....	松本 弘	127
はじめに——問題の所在 .....		127
第1節 国家と部族ファクター .....		129
第2節 国民と部族ファクター .....		140
結 語 .....		152

第7章 トルコにおける市民社会と政治……………	間 寧…159
はじめに ……………	159
第1節 なぜ今、市民社会か ……………	160
第2節 市民社会の実態 ……………	170
第3節 市民社会による政治参加の萌芽 ……………	177
おわりに ……………	185